

# ちらん敬和の郷たより

発行責任者：若松 一騎

発行日：平成28年 8月 吉日



## ◆生きる意欲を大切にしたい◆

開設して3年目。ドタバタとみんなで悩みながらすすめてきた施設運営も、年々落ち着いてきているように感じます。「はじまりの頃は…」と言いたところですが、それはさておき、世の中にはたくさんの「○○したい」「○○なりたい」が溢れています。

「おいしい物が食べたい」「リハビリをして元氣になりたい」「歩けるようになりたい」「ゆっくりしたい」「家に帰りたい」そんな当たり前の望みを言えるって大切なことです。

望み＝生きる意欲ではないでしょうか。「○○したい」をたくさん吸い上げて、それを実行していく。1日で実行できることもあります。時間をかけて実行することもあります。一人でできることもあります。仲間で協力してできることもあります。

そのために、私たちは、ここで暮らす一人ひとりに顔を近づけ、声を掛けて、耳を傾け、その方の思いを感じ取ることを続けていきます。

ちらん敬和の郷で暮らしているみなさんの「○○したい」「○○なりたい」に応えられるようになりたいです。

『希望！ どんな不幸におちいっても、われわれは希望の太陽を心からすててはならない。つねに楽天的であること。つまり天命を楽しむこと、これこそがわれわれを幸福に導く信仰である。今日を立派に生きることが、明日の希望を見出すことであり、明日の希望があってこそわれわれが明るく生きることができる。現在を嘆き悲しむものはやがて不運を招くことになる。』（ヘレン・ケラー）

～カオルさんの看取り～

カオルさんをご家族、職員が見守る中旅立たれました。肩で呼吸をしていたのが徐々にゆっくりとなりました。「カオルさん息をして。大きく息をして」ベッド回りにいた人たちが顔をめいっばい近づけて話すと、最後に大きく息をし、その後息をすることを止めました。眠っているようなとても穏やかな表情で、家族とも「眠っているみたいでいつもベッドで寝ている時みたい」とカオルさんを囲んで、顔を撫でながら話しました。私はこれまで多くの高齢者の最後を病院や施設で看してきました。ちらん敬和の郷でも開設から5人の方を看取らせてもらいました。5人の方々それぞれの最後をしっかり覚えています。カオルさんは徐々に食事を食べなくなり管理栄養士をはじめ、全員が悩み工夫をしました。家族や医師、看護師、ユニット職員、管理栄養士、生活相談員など何度も話し合いを持ち、何がカオルさんにとって幸せなのか、本人にしかわからないことをみんなで考え抜いての看取りケアでした。栄養面からの管理を行い、元気でいてもらうことを生業にする管理栄養士にとっては、とても葛藤があり自分の専門性の無力感に涙する日もありましたが、最後の瞬間を目の当たりにし、気持ちの整理をしながら体をきれいに拭いていました。カオルさんは私たちにたくさんの喜びや楽しみ、悲しみ、苦しみを与えてくれました。あんなに曲がっていた小さな体が実はまっすぐ伸び、きれいな姿勢で横になっているのを見て、「ありがとう」という気持ちがこみ上げてきました。

## <<ちらん敬和の郷の人たち>>

### 上片野 拓也

(H26年介護福祉士取得)

ちらん敬和の郷に就職し3年目を迎えました。これまで職員の方々にいろいろな事を教えてもらい、利用者様とも楽しい日々を過ごさせて頂いております。今後も利用者様の笑顔を引き出せるよう頑張っていきます。



ませませ！

### 岡村

(H26年介護福祉士取得)

ちらん敬和の郷に勤めて3年目。ショートステイのユニットで仕事をしています。毎日利用者が変わり、一人ひとりに対応が異なるので、先輩方の対応を参考にし、指導していただきながら頑張っていきたいと思っております。



くついでまーす

### 福山樹

(H25年ヘルパー2級取得)

ちらん敬和の郷にお世話になり3年目となりました。お年寄りさんのその日の体調や気分に合わせ、1日1日を大切に過ごしていただけるようにしていきたいと思っております。「ありがとう」と感謝され嬉しかった気持ちを忘れずに日々頑張ります。



ドキドキ…



梅ちぎり

メジャボン玉とんだ♪

願いが叶いますように...

リズムに合わせて

<ちらん敬和の郷>

夏を迎えるにあたり、行事が目白押し。どなりの梅林に入居者・職員と一緒に毎年恒例の梅ちぎり。願いを込めた七夕やボランティアの大正琴、茶話会など忙しく、楽しく、疲れないように過ごしております。

<ショートステイ>

茶話会や風船バレー大会、など行事がたくさん。忙しい中でもゆっくり過ごしています。

<テイサービス>

とにかく楽しく盛り上がるテイサービス。畑に、草取りに、踊りに、歌に！



茶話会にて



ソファにぎゅうぎゅう



七夕飾り



育てています

～ちょっと話～岩井田ケアマネ生活相談員  
私は世代的には「就職氷河期」と言われる世代でフリーター全盛期の世代である。先日、友人が長く勤めたフリーターを辞めた。「地元」を誇れる仕事をするかと話していた。今まで仕事に誇りを持っていなかったわけではないが、「地元」という言葉が耳に残った。私は現在、地域密着型の施設に勤めている。入居者同士の何気ない会話の中で、地元特有の地域名を話す様子や、古い時代の地域の歌を口ずさみ楽しみ、懐かしみながら「よく覚えているねえ」などとその方の記憶のよさに入居者同士が感心し合う場面を目の当たりにすると同じ地域に暮らしてきた良さを感じる。私は今地域の助けをもらいながら日々仕事をしているが、これからは少しでも貢献できることはないかを考えながら仕事をしていきたいと思う。

～紫芋水羊羹の作り方～  
(材料) さつま芋 200g 水 200g アガー 5g 砂糖 5g  
\*アガーとはゼラチンや寒天のような物で、滑らかに仕上がります  
(作り方)  
① さつま芋は茹でてペースト状にする  
② アガーと砂糖をよく混ぜる  
③ 分量の水を火にかけ、②をよく溶かす  
④ ①と③をよく混ぜる  
⑤ 冷やして固めて切り分ける  
今回朝隈さんのご家族様より美味しいさつま芋を頂きました。入居者の皆様に、美味しいさつま芋を水羊羹にして提供させていただきました。ありがとうございます。入居者はじめ職員から大絶賛!!  
素材がいいので大人気でした。



ひんやり美味しい

～ボランティアをやってみませんか～

介護施設では、たくさんのボランティアがあると助かります。ちょっとした時間でも構いません。お花をいけてくれたり、お年寄りのお茶飲み相手になってもらったり、洗濯物を一緒にたたんでもらったり・・・みなさんのボランティアの力は、お年寄りの生活をより豊かなものにして下さると思います。未経験者でも大丈夫。何かしたいという気持ちがあれば・・・ ボランティア担当 若松

～特養入所申込～

65歳以上の要介護認定を受けられた南九州市在住の方であればどなたでもお申込みできます。(要介護1・2は要相談)  
申込書類は準備しておりますのでご連絡下さい

〒897-0302 南九州市知覧町郡5998-1  
社会福祉法人敬和会  
特別養護老人ホーム ちらん 敬和の郷  
(TEL)0993-58-7080  
(E-mail) keiwanosato@kagoshima-keiwakai.jp  
デイサービス敬和の郷 (TEL)0993-76-0855  
ホームヘルプ敬和の郷 (TEL)0993-76-0833  
居宅介護支援事業所 敬和の郷 (TEL)0993-58-7050

社会福祉法人 敬和会のホームページがリニューアルされました。ちらん敬和の郷、テイサービス、ショートステイなどの日常の様子や、空き情報なども確認できますので、チェックして下さい。  
URL: <http://kagoshima-keiwakai.jp/>  
「社会福祉法人敬和会 鹿児島」と検索して下さい。スマホや携帯からも閲覧できます。

